

# 平成 26 年度 教員免許状更新講習・シラバス

講座 番号	1	講座名	英語音声についての理論と実践					
担当講師	船津 晶代 片山 圭巳	開催地	時間数	日程	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法
		広島キャンパス	6 時間	8 月 23 日 (土)	小学校教諭及び中 学校・高等学校英 語科教諭	30 人 (最少開催 人数3人)	講義	筆記
到達目標	英語音声学の基礎的知識と英語音声教育への応用について理解を深め、実践の基盤を育む。							
<p><b>【講座の概要】</b></p> <p>本講座は、英語コミュニケーション活動に重要な位置を占める音声について、その基礎理論を学び、実践への応用を図ることを目的とする。生徒の発音向上を目指した具体的な指導法を考察するにあたり、次の各項目を中心とした講義及び実習を行う。1) 日本人学習者の英語の発音の特徴、及び日英語対照音声学と音声学分析の応用による発音指導、2) 英語音声の知覚に関する日本人学習者と英語母語話者の特徴と、発音およびリスニングの認知的学習。</p>								
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p><b>講義 1：英語のリズムとその指導（担当：船津 晶代）</b></p> <p>円滑な英語コミュニケーションを行う上で、リズム、アクセント、イントネーションは重要な役割を果たすが、本講義はそのうちのリズムに焦点をあて、基礎的な事柄を概観するとともに、小、中、高校で使用されている教材を基に各レベルに応じた指導法を考える。また、英語の強弱リズムに伴って生じる音変化についても触れる。</p> <p><b>講義 2：英語のアクセント・イントネーションとその指導（担当：船津 晶代）</b></p> <p>英語の発話においてどこを強調したらよいか、どのような音調を使用したらよいかは話者の意図を聞き手に正確に伝えるために極めて重要なことである。学習初期段階の小学校英語活動から中、高と段階が進むに従って、アクセント・イントネーション指導をどのように展開していけばよいか考察する。</p> <p>講義 1 と 2 を通じて、日本人学習者の発音の特徴と注意すべき点を挙げるとともに、学習者の実際の音声について、改善すべき点とその解決法について討議する。音声指導での困難な点や効果があったことなどについて意見交換の時間も設けたい。そして、講義中に行う発音の実践を通じて、英語を発音することを楽しむことを目指したい。</p> <p><b>講義 3：子音・母音の発音方法および指導法の提案（担当：片山 圭巳）</b></p> <p>小学校に英語教育が導入され、音声教育の重要性が高まっている。教育現場において、教師の発音が生徒に与える影響は大きいと考えられ、また生徒の発音に対する適切なフィードバックが求められている。本講座は、小学校で使用されている教科書「Hi friends 1」を題材に発音教育について考えていくが、中学校及び高校での発音指導にも活用できると考える。</p> <p><b>講義 4：学生の発音に対してのフィードバックの考察（担当：片山 圭巳）</b></p> <p>講義 3 をもとに生徒へのフィードバック方法を考察する。実際の学生の音読を視聴し、どの点に問題があり、どのように指導したらよいかをディスカッション形式で行う。</p>								
<p><b>【備考】</b></p> <p>試験の際、講義資料とノートの持ち込みを認めます。</p>								

注) 予備日は 8 月 27 日 (水) とします。